

2. 火山の概況

(平成19年4月20日 ~ 平成19年4月26日)

【活動が活発もしくはやや活発な状況の火山】

樽前山 [やや活発な状況] : A火口及びB噴気孔群では高温状態が続いていると推定される。

御嶽山 [やや活発な状況] : 火山活動はやや活発な状況が続いている。

三宅島 [やや活発な状況] : 噴煙活動は活発で、多量の火山ガスの放出が続いている。

硫黄島 [やや活発な状況] : 大きな隆起の地殻変動はやや鈍化しながら継続している。

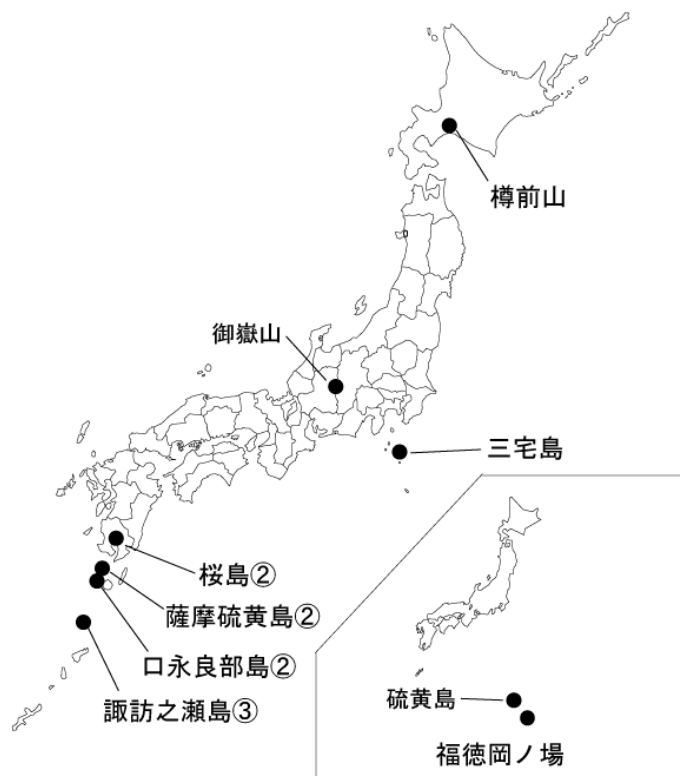
福德岡ノ場 [やや活発な状況] : 火山活動によるとみられる変色水が確認された。

桜島 [比較的静穏な噴火活動(レベル2)] : 火山性地震及び火山性微動のやや多い状態が続いている。

薩摩硫黄島 [やや活発な状況(レベル2)] : 噴煙活動はやや活発で、火山性地震はやや多い状態が続いている。

口永良部島 [やや活発な状況(レベル2)] : 火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

諏訪之瀬島 [活発な状況(レベル3)] : 今期間噴火は発生しなかったが、長期にわたり噴火活動の活発な状態が続いている。



注1 本資料中で記したレベルとは、火山活動度レベルを導入した火山におけるレベルを言う。

注2 記号の意味

● : 噴火した火山

● : 活動が活発もしくはやや活発な状況の火山

● : 静穏な状況であるが観測データ等に変化のあった火山、もしくはその他の記事を掲載した火山

● : 等丸付き数字 : 火山活動度レベル

図1 活動解説を掲載した各火山の今期間の活動状況

【各火山の活動解説】

各記号の意味は次のとおり。：噴火が観測された火山。：活動が活発もしくはやや活発な状況である火山。：静穏な状態であるが観測データ等に変化があった火山、もしくはその他の記事を掲載した火山。

たるまえさん 樽前山 **【やや活発な状況】**

A火口及びB噴気孔群では依然として高温の状態が続いていると推定される。樽前山の火山活動はやや活発な状況が続いており、火口周辺では注意が必要である。なお、噴煙活動・地震活動は低調な状態が続いており、地殻変動に特段の変化はなかった。

おんたけさん 御嶽山 **【やや活発な状況】**

火山性地震は、昨年12月から消長を繰り返しながらやや多い状態が続き、火山性微動も時々観測された。

今期間、火山性地震は少なく、火山性微動も観測されなかったが、火山活動は現在もやや活発な状態が続いていると考えられ、山頂付近では注意が必要である。

みたけくさわ
三岳黒沢の遠望カメラ（剣ヶ峰の南東約14kmに設置）では、ごく少量の噴気が時々観測された。

GPSによる地殻変動観測では、御嶽山の地下の膨張を示すわずかな伸びの変化は、収まりつつあるように見える。

みやけじま 三宅島 **【やや活発な状況】**

20日に行った火山ガス観測では、二酸化硫黄の放出量は一日あたり1,200～2,300 t（前回4月9日、一日あたり1,100～1,800 t）と、依然として多量の火山ガスの放出が続いている。

噴煙活動は活発な状態が続いており、噴煙高度は火口縁上100～200mで推移した。火山性地震はやや多い状態が続いている。

26日に行った上空からの観測（警視庁の協力による）では、山頂火口内の噴気や地形の状況に大きな変化は見られず、依然として高温状態¹⁾が続いていた。

三宅島では多量の火山ガスの放出が続いており、特に風下にあたる地区では火山ガスに対する警戒が必要である。また、雨による泥流にも注意が必要である。

なお、火山性微動は観測されず、地殻変動に特段の変化はなかった。

- 1) 赤外線熱映像装置による。赤外線熱映像装置は物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する測器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。

いおうじま 硫黄島 **【やや活発な状況】**

国土地理院及び防災科学技術研究所の観測によると、島内の地震活動は落ち着いた状態となっているが、昨年8月頃始まった島北部の元山^{もとやま}地域付近での大きな隆起の地殻変動は、やや鈍化しながら継続している。

硫黄島の火山活動はやや活発な状況が続いており、従来から小規模な水蒸気爆発が見られていた領域では、今後も注意が必要である。

ふくとくおかのぼ 福德岡ノ場 **【やや活発な状況】**

23日午前、第三管区海上保安本部に南硫黄島付近の海域で変色水が見られるとの通報があった。同日午後、第三管区海上保安本部が上空から行った観測によると、福德岡ノ場付近の海面に、火山活動によるとみられる中心部が黄土色で、そこから南東方向に延びる長さ約6 km、幅約200～1,000mの乳白色から緑色の変色水が確認されたが、噴煙や浮遊物は認められなかった。その後、24日及び25日にも、乳白色の変色水が確認された。

なお、16日（前期間）に海上自衛隊が上空から行った観測でも、乳白色の変色水が確認されていた。

さくらじま 桜島 **【比較的静穏な噴火活動（レベル2）】**

南岳山頂火口からの噴火は発生しなかった。昭和火口でも、噴火は発生しなかったが、弱い噴気が

時々観測された。

火山性地震及び火山性微動はやや多い状態が続いている。

桜島では噴火活動が継続しており、南岳山頂火口及び昭和火口から半径 2 km 以内では注意が必要である。

薩摩硫黄島 **【やや活発な状況（レベル2）】**

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや活発な状態が続いており、噴煙高度は火口縁上 100～200mで推移した。火山性地震はやや多い状態が続いている。

薩摩硫黄島の火山活動はやや活発な状況が続いており、火口周辺では注意が必要である。

口永良部島 **【やや活発な状況（レベル2）】**

火山性地震及び火山性微動は、消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

口永良部島の火山活動はやや活発な状況が続いており、新岳火口周辺では注意が必要である。

なお、遠望カメラ（新岳火口の北西約 3 km に設置）による観測では、新岳火口周辺の噴気等は観測されなかった。地殻変動に特段の変化はなかった。

諏訪之瀬島 **【活発な状況（レベル3）】**

今期間、噴火は観測されず、火山性地震及び火山性微動も少ない状態で経過した。

諏訪之瀬島では、長期にわたり噴火を繰り返すなど火山活動は活発な状態が続いており、御岳火口から半径 2 km 以内では注意が必要である。

表 1 最近 1 か月に記事を掲載した火山及び各火山のレベル

概況番号	対象期間	北海道		東北		関東・中部			伊豆・小笠原諸島				九州・南西諸島																				
		樽前山		吾妻山		草津白根山		浅間山		御嶽山	伊豆大島		三宅島	硫黄島	福徳岡ノ場	九重山		阿蘇山		雲仙岳		霧島山（新燃岳）		霧島山（御鉢）		桜島		薩摩硫黄島		口永良部島		諏訪之瀬島	
		記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル	記号	レベル		
17	4/20-4/26	●	①	①	①	●	①	●	●	●	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	●	②	●	②	●	②	●	③			
16	4/13-4/19	●	①	①	①	●	①	●	●	●	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	▲	②	●	②	●	②	▲	③			
15	4/6-4/12	●	①	①	①	●	①	●	●	●	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	●	②	●	②	●	②	●	③			
14	3/30-4/5	●	①	①	①	●	①	●	●	●	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	●	②	●	②	●	②	▲	③			
13	3/23-3/29	●	①	①	①	●	①	●	●	●	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	●	②	●	②	●	②	▲	③			

表 2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
御嶽山	火山観測情報 第 19 号	4 月 20 日 16:00	最近の火山活動評価。4 月 13 日～4 月 20 日 15 時までの活動状況。
三宅島	火山観測情報 第 16 号	4 月 20 日 16:30	最近の火山活動評価。4 月 13 日～4 月 20 日 15 時までの活動状況。